



撮影:写真同好会 渡邊照芳君

SESERAGI-MISHIMA Rotary Club Weekly Report

せせらぎ三島
ロータリー
クラブ週報

2007～2008年度 国際RI会長 ウィルフリッド・J・ウィルキンソン
ロータリー2008:ロータリーは分かちあいの心



せせらぎ三島ロータリークラブ 会長 古屋 憲男
クラブ会長基本テーマ「原点を学ぶ」

第904回 例会 2008.5.9 (金) 晴れ

司会:遠藤正亀君 指揮:石井邦夫君
ロータリーソング「奉仕の理想」

副会長 大房 正治 幹事 西原 克甫

事務所 三島市大社町17-4
Tel.055-976-6351 Fax.055-976-6352
<http://www.mishima-south-ro.gr.jp/>

例会場 三島グランドホテル Tel.055-975-4300
毎週金曜日 第1・第3夜間例会

会長挨拶

せせらぎ三島ロータリークラブ 会長 古屋憲男君

■冷凍ギョウザ事件への見解

ある中国人より

食品の安全について、日本では関連の規定や法律が非常にきびしく整備されています、そして、消費者としての自己保護意識やマスメディア等は、世論監督としての評価が厳しいと感じています。中国と日本では国情や意識上の格差が有りすぎます、中国では法律や法規体系の不備と関連基準が未整備です

食品の安全管理システムにおいて、無法地帯と言っても過言ではありません

社会全体として、人間の命を重視する意識が基薄で、中国国内でも食品安全の問題は続出しています。その多くは、円満に解決するに至らずやむやのま終わります、今回の毒入りギョウザは、国外に関わる問題で初めてとっていいほど重要視されました、もし国内での事でしたらたとえ死者が出たとしても結果は明らかです。

しかし、これから国際社会の一員として飛躍する為には、絶え間なく技術管理・意識制度など全てにおいて革新を求めると共に危機管理への革新も重要視せざるを得ないと思います。

この事件を客観的に直視しその真相を究明し正しく公表すべきです、目的は事件の解決と再発防止です。

■私見

冷凍ギョウザに何の目的で誰が毒を混入させたかは、まだ不明ですがそれはさておき、私が思うには、日本の商社達が安くて良い食材を中国に依存し、その生産方法から品質管理まで、こと細かく直接工場に立ち入り指導監督し輸入出来る商品にまで仕上げたという背景があるかと思いますが、その時日本国内で作る原価の10分の1以下の原価を実現出来ると思います、従ってそのギャップにリスクが全く無い事など考えられない事かと思いますが、今回は、ギョウザそのものの品質ではなく、ある意味外的要因による

事件ですが、問題はその様なリスクに対して日本国内の品質管理やリスク管理が機能しなかった事に有ると私は思います、ましてや半年も前に同じような不良が発見されており、正しく処理されなかった事に消費者を事故から守るという大きな責任を日本の関係者が、怠った事に大きな責任が有ると私は思います

誰が何の目的でこの問題を隠蔽したのか?

私は思います、この事件を教訓とし、食の安全を継続的に維持する為に輸入商社又は、仕入れ企業は安いコストに乗じる事だけでなく、利益を圧縮してでも食の安全にコストを掛けて欲しい

幹事報告

幹事 西原 克甫君

本日、例会終了後5階の別室にて理事、役員会を開きますので関係者の方々宜しくお願い致します。

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	31/35	88.57%	32/35	91.43%
今回	31/36	86.11%	会員総数	36名
欠席者 あなたが見えなくて残念でした。				
太田君、金澤君、田中君、望月君、山上君				

おめでとう

入会記念日 5月12日 内田憲一君

ようこそ
南クラブへ

ゲスト 新井香さん(澤田君、野中君のゲスト)
ビジター 岸本勝一君(長泉・ガバナー補佐)

😊 スマイルボックス

内田憲一君:昨日、レストラン「じゅん」で次年度広報委員会を行いました。矢岸委員長他7名で、有意義な、そして活発な意見交換ができ、楽しいひと時を過ごすことができましたのでスマイルします。予算は余りませんでした。

西原克甫君:4月29日、金曜日会主催の「地域にやさしい街づくり」第14回空き缶やタバコなどの投げ捨てストッパキャンペーンに市内の中学生、高校生を中心に370名が参加していただき盛大に開催できました。ありがとうございました。なお、当日、奉仕プロジェクト委員長の田中さん、内田さん、矢岸さん、大房さんにはお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございました。感謝申し上げます。

当日、「ポイ捨て禁止」を呼びかけました花の種をポケットに入れておきましたので、蒔いていただければ幸いです。感謝してスマイルします。

古屋憲男君:三島商工会議所1階にて、チャール会の絵画展が開催されています。私も出展していますので、お時間ありましたら立ち寄ってください。

宮澤正昭君:本日、私の卓話です。よろしくお願いします。

渡邊照芳君:先日、5月3日につり同好会で沼津の内浦沖にイカ釣りに行ってきました。初めてたくさん釣れました。山田定男君には大変お世話になりました。なお、釣ったイカは沖漬けにして保存してあります。また家へ寄ってくればお分けします。

Eテーブル会:4月25日に長岡温泉、桂川彩峰でテーブル会をいたしました。和気藹々の楽しい時間を過ごしました。桂川はきれいに改装されておりました。皆さんもぜひ一度行ってみて下さい。

委員会報告

次年度幹事

鈴木政則君

原稿依頼のお願い

会員各位様

せせらぎ三島ロータリークラブ
次年度会長 大房正治
次年度幹事 鈴木政則

前略

会員各位におかれましては、益々御清栄の事と存じます。さて、地区協議会も無事に終了しいよいよ次年度の準備に入りました。

クラブ計画書に各委員会の事業計画を掲載しますのでお忙しいと思いますが、原稿の作成をお願い致します。

また、5大奉仕委員長は委員会を開催して一年間の事業計画をまとめて下さい。

締め切り日: 平成20年5月23日 金曜日 まで

委員会名	名前	FAX
ガバナー補佐	兼子悦三	977-2959
会長	大房正治	973-6373
幹事	鈴木政則	977-6902
● 会員組織	委員長 澤田 稔	971-7764
会員組織	小委員長 山田定男	977-6650
● 奉仕プロジェクト	委員長 古屋憲男	984-0362
国際プロジェクト	小委員長 根津延和	979-5731
地域開発奉仕プロジェクト	小委員長 小林 勝	977-3488
● ロータリー奉仕	委員長 渡辺照芳	973-0912
ロータリー奉仕	小委員長 内田憲一	977-0666
● 広報	委員長 矢岸貞夫	972-2528
IT化		
ロータリー内広報	小委員長 山口辰哉	971-3307
ロータリー外広報	小委員長 石井司人	978-9502
● クラブ管理	委員長 山梨一正	977-6235
会場監督・プログラム	小委員長 遠藤正亀	977-7835
親睦・出席	小委員長 宮澤正昭	972-9926
会計・細則検討	小委員長 西原克甫	972-5055
20周年実行	委員長 片野誠一	973-5246
IM実行	委員長 中村 徹	979-3813

第11回 理事 役員会 議事録

日 時 平成20年5月9日(金) 13時30分より
場 所 別室
出席者 古屋 西原 澤田 兼子 保坂 野中 中村
 片野 大房 山本 山口 山梨 鈴木
 オブザーバー
欠席者 田中 渡辺 矢岸 望月
記録者 鈴木政則
司会者 西原
会 長 古屋会長挨拶

■審議事項■

1. 例会場休業に付き例会場の変更について

西原幹事より説明

ブケ東海三島に決定した

他のクラブは次年度会長・幹事会で発表する

ガバナー事務所には 次年度幹事より報告する

承認

2. 太田政人君会長就任順例に復帰通知の件
西原幹事より説明
2010年ー2011年度 会長になる
承認
3. 新会員について
西原幹事より説明
新井香 昭和32年8月15日 生 50歳
推薦者 澤田稔君 野中信行君
承認
4. 20周年準備委員会
片野委員長より説明
6月例会で今までに決まった事を報告する
承認
5. 次年度 週報はコピーして全員に渡す
承認
6. 次年度 会計監査は2名にする
会員組織委員長
副幹事
承認

第1回 次年度 理事 役員会 議事録

日 時 平成20年5月9日(金) 13時30分より
場 所 別室
出席者 古屋 西原 澤田 兼子 保坂 野中 中村
片野 大房 山梨 遠藤 宮澤 中山 鈴木
オブザーバー
欠席者 渡辺 矢岸
記録者 鈴木政則
司会者 鈴木政則
次年度会長 大房会長挨拶

■審議事項■

7. 年次事業計画について
大房次年度会長より説明
タイ放置自転車寄贈は2008年度で終了する
承認
8. 2008年7月7日 月曜日
RI会長主催会議 会員増強について
場所:ホテル グランパシフィック メリティアン
会議登録料:7000円
参加者:兼子 澤田 野中 大房 鈴木
5名が参加する
登録料と交通費は特別会計より支払う
承認
9. 田中君退会の為、役員に小林勝君を推薦する
IM副委員長 矢岸貞夫君を推薦する
承認

卓 話

宮澤正昭君

皆様、九州の九重「夢」大吊り橋をご存知ですか？大分県玖珠郡九重町の鳴子川溪谷にかかる吊り橋です。

実は、私の住む箱根山西麓の地域とよく似ていまして、三島市内は観光資源は恵まれています、我が地域では、素晴らしい富士山の見える場所が多いのですが、観光としては通過するだけにとどまっております。そこで、九州の吊り橋のようなものがあれば、富士山はもちろん、地元の山中城にスポットをあて地域の活性化が図れば等を仲間内で話していたところ、その九州の吊り橋が、先月4日に開業522日で入場者数が300万人を突破したと新聞に出ていましたので、早速調査開始。大分県へ1泊の強行軍で行ってまいりました。

その吊り橋は、九重町の直営で、全長390m・高さ173mと歩行者専用の橋としては、いずれも日本一で、平成18年10月に開業しました。ちなみに、それまでの日本一はといいますと、永さでは茨城県太田市の竜神大吊橋375m、高さでは宮崎県綾町の照葉大吊橋142mです。

九重町は大分県南西部に位置しており、気温は寒暖の差がおおきく、大部分は山林、原野に覆われて、温泉、原野、溪谷、名瀑等の自然景観に恵まれたところなのですが、豊富な観光資源もうまく生かされず、通過型の観光にとどまっておりました。そのため平成4年度に、恵まれた観光資源を生かして、滞在型・通年型の観光リゾートづくりを推進するための「九重町観光振興計画書」を策定することが決定し、いわゆる村おこし事業を計画、「美しく、豊かな自然との共生」をテーマに「大吊橋」「スキー場」「リゾート施設」の三つを樹立し、実現に向けて取り組み、「スキー場」が平成8年に民間主導で完成し、今では九州一のスキー場になったそうです。

大吊橋は新聞なので取り上げられ、入場者数は当初年間30万人と見込んでいたそうです、平成18年10月30日オープン、平成19年4月10日に100万人達成、その年の9月16日には200万人達成(322日目)、そして先の4月4日には300万人達成(522日目)したそうです。因みに、この大吊橋の本体工事費は10億8500万円で、周辺設備等を含む総工事費は20億円だったそうです。この20億円の内訳は、自己資金(町一般財源)3億円のほか、地域再生事業債と過疎債の合計が17億円で、ほとんどが借入金で賄ったそうです。地域再生事業債については、町では当初この地域の入込客数を500万人の1割と見込んで、11年間での返済計画を立てたのですが、わずか1年半で300万人を突破しましたので、当初の償還計画通りに返すよりも早く返済したほうが後々の利子負担を軽減できるため繰上返済をし、節減できた額は町民のために別の事業に当てるとし、実

際子供たちを対象とした「医療費助成制度」が昨年新設されました。就学前の乳幼児の医療費を全額無料にし、さらに、小中学生の医療費を助成する制度を19年度に新設しました。この制度は、少子化対策の意味も込められているといえます。吊橋の効果で、他の自治体にはない福祉が実現したのだそうです。因みに、平成28年度までに返済予定でした約7億3000万円は、今年度完済することになったそうです。過疎債は交付税措置があるために計画通りの平成30年度までに返済する予定となっているそうです。

地域経済への効果は半径100km圏に及んでいるとのことで、地元、九重町への直接効果は当初7億7500万円を見込んでいたのが177億円、大分県への間接効果は179億円、大分県内の産業関連による合計波及効果は

356億円に達しているそうです。地元物産品の販売も好調で、入場収入に匹敵するほどの売り上げがあるそうで、地元住民も地域特産品の開発に意欲的なのだそうです。

こうして町全体で村おこしに成功した九重町の大吊橋ですが、今後の課題もいくつかあるそうで、なかでも交通渋滞対策が一番の課題だそうです。交通アクセス道の整備、駐車場の増設等が急がれているようです。因みに私が泊まりました湯布院からは、程ほど飽きない距離でした。

このように、官・民一体となり、村おこし、町おこしが実現できれば素晴らしいと思います。

次回卓話

5月16日(金) 山田定晴

Photo Gallery



岸本ガバナー補佐



ゲスト 新井さん



入会記念日 内田君



卓話の宮澤君

